

## 回 覧

令和4年6月24日

自治会々員 各位

四季の丘はたそめ自治会  
副会長 皆川和彦

### 市道 0139 号線(旧日立・笠間線)団地内通過の経過について(報告)

日頃、自治会活動にご協力いただき厚くお礼申し上げます。

さて、日立市の山側道路と接続する真弓トンネルの入口付近に土地を共有している(皆川和彦他 61 名持分)交渉が本格的に検討する時期にきています。私は市道 0 1 3 9 号線が団地内通過を阻止するために山林を購入しましたが、この土地の交渉は市が責任をもって対応しなければなりません。

はたそめ団地は日立ライフが大規模開発行為の認可を受けたにもかかわらず、当時の県の公園街路課長は当時の市長(渡辺市長)の名の下で団地内道路を通過させようと日立ライフに開発行為の一部変更を図りました。その行為は宅建法に違反であり、無理やり団地内に道路を計画したことが問題の始まりです。

私たちは日立市の山側道路と真弓山をトンネルで結ぶ道路の建設には反対しませんが、団地内を通過させる道路建設には反対です。このことは先の自治会のアンケートで 7 2 % から 7 5 % の方が反対されていることでも明らかです。

また、現在、日立市諏訪町に建設されようとしている産業廃棄物最終処分場は日に 5 0 0 台程が入って来ると言われています。そのため、日立市は搬入道路の整備を条件に受け入れを許可しましたが、仮に団地内に道路が建設されたら関係業者は近い道路から順に通り返っていくことが予想されます。

今年 12 月には県議会議員の選挙があります。市から選出している西野一氏は団地の意向を無視して早急に 0139 号線を進めるよう県議会で発言しております。私は団地の意向をこのように無視し、団地を攪乱している一部の市会議員や県議会議員を絶対に許すわけにはいきません。7 月 1 0 日には市会議員の選挙がありますが、彼らの言動や行動を注視し、穏やかなはたそめ団地に住み続けられるよう会員の皆様とともに団地内道路の建設に反対してまいりますのでご協力お願い申し上げます。